

# 国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

一般選考・留学生選考

研究科	専攻	試験科目	参考書等持込
人文科学研究科	教育学専攻	教育学	不可

日本の学校教育は正解主義に陥っており、同調圧力が強いとの指摘が、近年相次いでいる。

では、学校がそのような空気に覆われることによって、子どもたちにはどのような影響がもたらされるか。また、そこからの脱却に向けて、学校と教師にはどのような取り組みが求められるか。正解主義、同調圧力とは何かを説明した上で、関係各方面における議論や実践、研究の動向にも言及しながら、上述した二つの問いについて、考えるところを述べなさい。

# 令和8年度 国士舘大学大学院入学試験

## 出題の意図と採点のポイント

研究科名	人文科学研究科 教育学専攻
試験期別	I期
試験区分	一般、留学生選考
試験科目名	教育学

### ■出題の意図

出願者が、現代日本の教育事情、特に学校教育の状況をどのように把握しているか、それに関係する教育学的知見を持ち合わせているかを確認するためにふさわしいものとなるように意識して作問した。

具体的には、日本の学校には正解主義と同調圧力が蔓延しているとの指摘が関係各方面から相次いでいることを踏まえ、それが子どもたちに対して及ぼす影響とその克服に向けた学校と教師の実践上の課題について、教育学を専攻する者として、どのように考えるかを問うことにした。論述内容を吟味することで、回答者が大学院修士課程において教育学の学修（習）・研究を主体的に遂行するために必要な知識と力量を身につけているかどうか明らかにするものと考えている。

### ■採点のポイント

- ・中央教育審議会など、文部科学省内で進行中の教育改革論議について、その動向をフォローできているか。またその要点を正確に理解しているか。
  - ・正解主義と同調圧力に着目することで、今日の学校教育が直面している問題点を的確に把握することができるか。
  - ・正解主義と同調圧力の克服に向けた学校と教師の課題を示すことができるか。
  - ・関係する教育学分野の先行研究を参照し、その成果を踏まえて、テーマに対して自分なりの定見を持つことができるか。
  - ・アカデミック・ライティングの基本的な作法を身につけていると認められるか。
- 以上を中心的な視点としつつ、また実際の答案の内容や特徴に応じて点数をつけることにする。